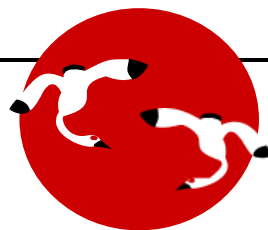


谷口中学校だより



# 鶴 舞

令和 5 年度 第 5 号  
令和 5 年 9 月 1 日発行  
相模原市立谷口中学校

## 「心豊かで、充実した2学期に・・・」

校長 よこやま 横山 しげふみ 恵史

1 週間前に充実した夏休みが明け、成長した生徒たちが教室に戻ってきました。夏休み中に本校の生徒がトラブルや事故に遭ったという報告もなく、35度を超えるような猛暑や、台風・ゲリラ豪雨などによる大雨、感染症も続いているなど大変な日々の夏休みであったかとも思いますが、無事に2学期をはじめることが出来ました。今後も残暑や感染症はまだまだ心配ではありますが、生徒の健康状態には十分に気をつけ、油断することなく熱中症対策や感染症対策の徹底を図って、教育活動を日々進めてまいりたいと思います。何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、8月25日の始業式の時に生徒たちに私から高校野球決勝戦の試合終了後の準優勝チーム選手の参加態度について、少しだけ話をしました。内容としては勝利した監督や選手のインタビューの時、準優勝の選手たちがきちんとした姿勢でその話を聞いていて、インタビューの終わりにはしっかりとした態度で拍手をしていた姿を見て、私はとても感動したという内容です。準優勝ということは決勝戦で負けてしまい、その時から時間がほとんど経っていない中でこのような行動がとれたということは、本当に素晴らしいことだと思いますし、その姿こそが教育の成果ではないかと感じたものです。人はとかく上手くいかなかったとき、望む結果にならなかったときに、自分ではなく他の人や他の所に原因を持っていきがちです。審判が・・・、相手選手が・・・、仲間が・・・、練習をもっとできていれば・・・などなど。でも、彼らは違いました。野球というスポーツを通して立派に心豊かに成長したのではないのでしょうか？その監督さんも“人は上手くいかなかったときに、どのような言動をとるかでその人の真価がきまる”と日頃から話をしているそうです。お互い全力を尽くした者同士、素直に健闘をたたえあうことができる人でありたいと思いますし、谷口中生にはぜひともそうなってほしいと考えます。大事なのは何を結果として残したかではなく、如何に取り組んできたかということを改めて考えました。

## 夏の部活動の主な結果

|             |         |       |       |         |      |
|-------------|---------|-------|-------|---------|------|
| 野球部         | 市総合体育大会 | ベスト8  | サッカー部 | 市総合体育大会 | ベスト4 |
| 男子バスケットボール部 | 市総合体育大会 | ベスト32 |       |         |      |
| 女子バスケットボール部 | 市総合体育大会 | ベスト16 |       |         |      |

